

だい きやまとしたぶんかきょうせいかいぎ だい かいかいぎろく ようやく
第3期大和市多文化共生会議 第6回会議録(要約)

にちじ ねん がつ か にち
日時: 2013年9月14日(日)14:00~16:30

ばしょ やまと し やくしよぶんちようしや かいかいぎしつ
場所: 大和市役所分庁舎2階会議室

しゅっせき いん いしま いとうひろ こ いともと み いなふく おかざき
出席: 委員(石間 フロレリサ、伊藤裕子、伊藤素美、稲福スーザン、岡崎チャ
ーメイン、紺野勝) / ファシリテーター 清水睦美 / 大和市国際・男女共同
さんかくか ふなこしえいいち こうえきざいだんほうじんやまと しこくさいか きょうかい たなかひろ こ こにしえ
参画課 船越英一 / 公益財団法人大和市国際化協会(田中弘子、小西永
り こ いしかわかずとも いじょう めい
里子、石川和友) 以上11名

けっせき いん あらいまさのり きくちけんいち こばやし みやじまこうじ
欠席: 委員(新井政則、菊池健一、小林ホルヘ、ファン チィ フォン、宮嶋耕治、
やまだちよん あ けいしやうやく
山田 静娥)(敬称略)

ふ かえ
1 フィールドワークの振り返り

ぜんかいおこな じ むきよく ほうこく だい かいかいぎろく さんしやう
前回行ったフィールドワークについて、事務局から報告した。(第5回会議録を参照)

しつぎ おうとう
2 質疑応答

いん にほん たいしやうしや めい しゅっしん めい ちゆうこくしゅっしん にほんご
○委員(日本): 対象者は8名がカンボジア出身で、もう1名が中国出身だった。日本語
が得意でない人の特徴として、20年以上日本に住んでいる外国人でも自分の会社の
なまえ い ひなんじよ しやうがっこう ぼしよ わ
名前をはっきり言えない。そのため、避難所になっている小学校の「場所」が分かっ
ていても、小学校の「名前」が分からないことはありうる。そのほか、インターネットを使っ
た無料の通話サービス(スカイプ、ラインなど)を利用している人が一定数いることがわ
かった。

また、フィールドワークでの質問者は統一したほうがよかった。何人もの人が質問をし
ていたので、対象者が混乱していた。次回は役割をよく確認して進行した方がいい。

いん でん わ ぼんごう とうろく しつもん
○委員(フィリピン): メールアドレスや電話番号の登録について質問しているが、そこまで
必要になるのか?

いん がいこくじん こじんじやうほう あくよう もんだい
○委員(ベトナム): 外国人の個人情報については、悪用されたいへん問題になる。
たとえば、今振り込め詐欺が多いが、もしお金を払わなければ、ビザを更新しないなどと
おどされるようなことが心配される。

たと がいこくじん とうろく こくさい かきょうかい ほっしん
○ファシリテーター: 例えば、外国人がボランティア登録をすれば、国際化協会が発信
する情報を得ることはできる。もちろん、その個人情報は協会からの情報発信のため
にだけ使用する。しかし、その人から周囲の外国人に情報が広がることを期待でき
る。

○委員(ペルー): 多くの外国人がボランティア登録をすることを期待しているが、名前を出してまで協力しようとする人は少ないと思う。ちょっと手伝って、と言って応じる人なら多いのではないか。

○大和市: 行政が持っている個人情報(個人情報)を災害時に開示(開示)するのかどうか、まだ決ま(き)っていない。ただし、災害時に介護(さいがいじ)が必要な人(かいご)などの要援護者(ひつよう)がどこに(ようえん)いるか知(し)っておく必要(ひつ)はあるので、市役所(しやくしょ)の福祉担当(ふくしたんとう)はその個人(こじん)の把握(はあく)をはじめ(は)めている。

3 これまで話し合(はな)ってきた災害時(さいがいじ)の外国人支(がいこくじん)援(えん) (意見)

石間委員(いしまい)からこれまで話し合(はな)ってきた災害時(さいがいじ)の外国人支(がいこくじん)援(えん)についてま(ま)とめてもら(もら)った。

(意見)

○委員(ペルー): 避難所(ひなんじょ)の場所(ばしょ)を調(しら)べようとした外国人(がいこくじん)のお母(かあ)さんが、市役所(しやくしょ)のホームページ(ホームページ)で検(けん)索(さく)したところ(ところ)、自(じ)動(どう)翻(ほん)訳(やく)が入(はい)っているの(ので)、「上和田(かみわだ)」という地(ち)名(めい)が、ス(ペ)イン語(ご)に訳(やく)されてい(て)意味(い)が通(つう)じなくな(って)いた。「kamiwada」という地(ち)名(めい)のま(ま)ま読(よ)んで、理(り)解(かい)しな(い)といけ(な)い。避(ひ)難(なん)所(じょ)の場(ば)所(しょ)を外(がい)国(こく)人(じん)に周(しゅう)知(ち)でき(な)いこ(と)は問(もん)題(だい)だと思(おも)う。

4 ベトナム親善協(しんぜんきょうかい)会(かい)との意(い)見(けん)交(こう)換(かん)及(および)質(しつ)疑(ぎ)応(おう)答(た)

災(さい)害(がい)に關(かん)する現(げん)状(じょう)につい(て)ベ(トナム)親(しん)善(ぜん)協(きょう)会(かい)の日(ひ)野(の)肇(はじめし)氏(し)にう(か)が(っ)た。

① 災害時(さいがいじ)のこ(と)

◎ 団(だん)体(たい)／教(きょう)室(しつ)／グ(る)ー(ぷ)で考(かんが)え(て)い(る)こ(と)はあ(り)ま(す)か?

○私(わたくし)た(ち)のグ(る)ー(ぷ)でや(っ)てい(る)こ(と)は互(ご)助(じょ)活(かつ)動(どう)のよ(う)なも(の)。何(なに)か活(かつ)動(どう)しよ(う)とす(る)と(き)は、何(なん)人(にん)か(で)集(あ)ま(っ)て意(い)見(けん)を(出)し合(あ)い、方(ほう)針(しん)を(決)め(る)。事(じ)務(む)所(しょ)な(ど)は(な)く、す(べ)て個(こ)人(じん)のい(え)お(こ)な(の)家(か)で(行)っ(て)い(る)。ベ(トナム)人(じん)か(ら)の相(そう)談(だん)が(あ)る場(ば)合(あ)い、個(こ)人(じん)のい(え)お(こ)な(の)家(か)に(行)っ(た)り、詳(くわ)しい人(ひと)を紹(しょう)介(かい)し(た)りし(て)、こ(れ)ま(で)の経(けい)験(けん)を(生)か(し)な(が)ら相(そう)談(だん)に(応)じ(て)い(る)。

○東(ひがし)日(にっぽん)大(だい)震(しん)災(さい)の発(はっ)生(せい)時(じ)は組(くみ)織(し)的(てき)な動(どう)きは(な)か(っ)た(が)、今(いま)ま(で)の経(けい)験(けん)か(ら)、お(互)い(に)情(じょう)報(ほう)を(交)換(かん)し(て)い(た)。例(たと)え(ば)、震(しん)災(さい)直(ち)後(ご)の混(こん)乱(らん)し(て)い(る)時(じ)に、言(こと)ば(が)でき(な)い(の)でベ(トナム)に(帰)っ(た)方(か)が(い)い(か)と(い)う相(そう)談(だん)が(あ)っ(た)。そ(の)時(じ)に、帰(かえ)る(の)も(い)い(が)、仕(し)事(ごと)も(な)く(な)るし、日(に)本(ほん)に(い)る(方)が(国)に(帰)る(よ)りも(困)ら(な)い(と)話(は)した。

○そ(れ)か(ら)「大(だい)災(さい)害(がい)が(起)き(て)、わ(れ)わ(れ)は(だ)ま(っ)て(い)て(も)い(い)の(か)」と(い)う話(はなし)が(あ)っ(た)。関(かん)係(けい)者(しゃ)み(ん)な(で)お(金)を(集)め(て)、赤(あか)十(じゅう)字(じ)に(寄)付(よ)り(も)し(た)。そ(の)後(ご)、ま(た)何(なに)か(を)し(な)く(て)は(い)け(な)い(の)で(は)?と(い)う電(でん)話(わ)が(あ)り、年(ねん)に(何)回(なんかい)か(現)地(げんち)に(行)っ(て)炊(た)き出(だ)し(を)行(い)っ(た)。必(ひつ)要(よう)な経(けい)費(ひ)は(出)せ(る)人(ひと)か(ら)の寄(よ)付(よ)り(で)ま(か)な(っ)た。

○阪神淡路大震災の時も、何人かが寄付を集めて、物資を現地のベトナム人の神父が
いる教会に送った。特別にベトナム人にだけ支援したわけではなく、もともと神父とのつな
がりがあったために行った。

○こうした災害が起きたときの連絡は自然に起こるもので、現地への支援活動も成り行
きで行ってきた。やはり、リーダーが中心になってメンバー間に信頼関係があるから
できることだと思う。

◎ベトナム人が自治会など地域の人たちと災害時に行動することは考えられますか？

○私が知っている限り、いちよう団地など、ある程度人数のいる地域では、自治会の方
々と何らかの関係を持っているベトナム人はいる。

②連絡をとりあうこと

◎普段、どのように連絡をとりあっていますか？

○例えば、書類の翻訳や法律の相談などがあった場合、私の自宅の電話や携帯電話
にかかってくることが多い。その際は弁護士やボランティア団体などを紹介する。メー
ルやFAXで相談がくることはあまりない。

○かつて難民が多かった時期と現在とでは相談内容も変わってきていて、今は自分の
力で生活していける場合が多い。ある程度日本語ができるようになり、困ったときに問
題を処理できる能力が高くなった。現在、相談数は減っていて、本当に困っている時
だけ電話がくるという状況。加えて、国際化協会や他の団体でも対応できるようにな
っているので20～30年前とは状況が全く違う。

◎スカイプやラインなど、インターネットを使った無料通話サービスを利用しています
か？(委員:日本)

○私自身は利用していないが、利用している人はたくさんいる。そのようにインターネット
を使って情報収集できるような能力の高い人は、自分たちで問題を解決していける。

◎日本に最近来て、困っているベトナムの方は多いのでしょうか？(委員:日本)

○そうした人は多い。しかし、私たちはあまり接触する機会がない。そうした方々は出稼
ぎで日本に来ている場合が多いが、不法滞在になりやすい。そうした場合は、彼らは、ブ
ローカーや専門業者などに相談する機会が多い。そのため、私たちに相談してくるこ
とは少ないが、病気など、どうしても困っている場合には人道的なこともあるので、相

だん おう
談に
応じている。

さいがい とき れんらくしゆだん き
◎災害の時の連絡手段をあらかじめ決めて
いますか？

き
○決めてはいない。しかし、20年以上この地域に住んでいて、ベトナム人の間です
すでに
しんらいかんけい あ わたし ちゆうかくてき し ぜん れんらく おも
信頼関係ができ上がっている
ので、私たち中核的メンバーには自然と連絡がく
ると思
う。

ひ なんくんれん
◎避難訓練について

さいがい とき ひ なんじよ し
◎災害の時の避難所を知っていますか？

わたし じしん ひ なんじよ ばしよ し ひ なんじよ し ひと おお おも
○私自身は避難所の場所を知っているが、おそらく避難所を知らない人が多いと思
う。
じぶん ひ なん ばしよ い ひと じぶん いえ ちか がっこう こうえん
自分の避難場所がわからない
と言ってくる人には、自分の家の近くの学校や公園が
避難所になるから覚えておくように、と話している。

さいがい とき こま こと そうだん とき だれ おも う
◎災害の時に困った事を相談する時、誰を思い浮かべますか？

こ じん てき なんみん ていじゆうえん じよきょうかい そうだん おも なが つ あ
○個人的には、かながわ難民定住援助協会に相談すると思う。長い付き合いがある。
に ばん め あ きょうかい しよぞく じんしん ぶ わたし しんじや
二番目に挙げるとしたら、カトリック教会に所属するベトナム人神父たち。私は信者で
はないものの、お互いに信頼関係がある。その次に挙げるとしたら国際化協会。
い いん わたし ば あい ひ なんじよ い そうだん なに
○委員(ベトナム)：私の場合、まず避難所に行って相談してみる。何かあれば、いろ
いろ
おし おも
ろ教えてくれると思う。

がいこくじんせんよう ひ なんじよ りよう
◎外国人専用の避難所があれば、利用しますか？

こ じん ふ つう に ほんじん おな ひ なんじよ たが きょうつう こと ば に ほん
○個人としては、普通に日本人と同じ避難所がいい。お互いに共通の言葉である日本
語がある方がいいと思う。つまり、外国人専用の避難所だと、いろいろな国の言葉が
はな ばな ごとく う ひ なんじよ うんえい
話されるので、誤解が生まれやすいではないか。また、避難所がうまく運営でき
るよう
にリーダーがいるかどうか
も重要だと思
う。

さいがい とうろく とうろく
◎災害ボランティア登録があったら、ボランティア登録はできますか？

ほか ふく とうろく ようせい なに きょうりよく
○他のメンバーも含めて登録できるだろうと思う。また、要請があれば、何か協力はでき
ると思
う。

◎そのほか

さいがい お ぎょうせい だ じょうほう ほうほう ていきよう
◎災害が起きたときに、行政から出される情報はどのような方法で提供してほしいです

か？(事務局)

- まずは、紙(現物)で教えてほしい。紙が一番説明しやすいし、確実。また、日本語よりもベトナム語に翻訳されているとありがたい。もちろん、インターネットを通じた情報提供もいいと思う。しかし、インターネットを使える人はいいが、使い慣れてない人もいて、その中にはいろいろな意味で困っている人が多い。

◎災害多言語支援センターは何をすることでと思いますか？(委員:フィリピン)

- 私たちはいつも支援する側で、また、今日初めてこのセンターのことを聞いたので、思い浮かばない。おそらく、水や食糧はどこに行けばもらえるのか、子どもはどこに行けばいいのかなど、いろいろな質問が寄せられるところになると思う。

◎ベトナム親善協会は事務所を持っていないようだが、もし個人の家が壊れてしまって、一方で避難所では日本語しか通じないような状況で、困っている人から助けてほしいと相談を受けたら、どのように支援しますか？(ファシリテーター)

- 想定できないが、自宅に庭があるベトナム人の家にテントでも立てて、そこに移動してもらうなどして、何とか対応しようと思う。少人数であれば対応できるが、支援の対象は当然ながらベトナム人に限定される。

◎災害が起きたら、日野さんに助けてほしいという声が殺到すると思うが、どのように対応しますか。(事務局)

- 今までそのような経験はないが、自分たちだけで対応できない場合、他に頼れそうな若い人や能力の高い人に相談すると思う。

◎現在、ベトナム親善協会が抱えている一番の問題は何ですか？そうした問題のうち、防災はランキングで言うと、どのくらいの位置ですか？(事務局)

- 私たちベトナム親善協会としては特に問題を感じることはないが、同胞のベトナム人で困っているのはやはり仕事のこと。災害のことはあまり考えてない。3年前の東日本大震災では、神奈川県内にはあまり被害がなかったのに、実感がない人が多い。その怖さがイメージできていないし、まだ分かっていない。ランキングで言ったら、まずは仕事、次に病気、という順番になる。また、何かあったらベトナムに帰ると考えている人もいる。日本人が災害対策に力を入れているのは、災害を経験した長い歴史があつて、怖さが体に染みついているのだと思う。

5 今後のスケジュール

以下の通り、今後のスケジュール予定を確認し、会議を終了した。

日時	フィールドワーク先
10月6日(日)14:00～	NPO法人 在日ラオス協会
10月19日(土)14:00～	※振り返りの会議(災害シュミレーションゲーム)
11月9日(土)14:00～	※中止
11月10日(日) 17:00～(予定)	カンバーランド長老キリスト教会高座教会
12月14日(土)14:00～	NPO法人 在日カンボジアコミュニティ
2月8日(土)14:00～	災害ボランティアセンター

(その他)

- フィールドワークの際には、首下げ名札をする。
- フィールドワーク先の追加候補として、中国人グループを検討する。
- カンバーランド長老キリスト教会高座教会、大和カトリック教会のフィールドワークでは、これまでのような会議形式をとれないため、対象者と1対1で聞き取りを行う。